

入場無料・申込不要

6月6日(土)  
10:00~17:00

スラブ・ユーラシア研究センター  
4階ラウンジ

もっと楽しく!  
もっと詳しく!

# スラブ・ユーラシア展

北海道のすぐお隣のサハリンから、チェコやポーランドがある中東欧まで、北は北極圏から南は沙漠と山脈の中央アジア・コーカサスまで、スラブ・ユーラシアはとにかく広い！  
チェブラーシカで有名なロシアのアニメや、今スラブ・ユーラシアで起きているホットな出来事に「もっと楽しく、もっと詳しく」触れてみましょう！

## パネル展示

- ウクライナ危機後のロシア経済
- アラル海災害と復興
- スラブ・ユーラシアの世界遺産
- スラブ・ユーラシアのアニメと絵本

## 北大縦断 シールラリー

6カ所すべてまわって北大グッズをゲット!

6月6日(土)  
10:00~17:00  
(研究所によって開場時間は異なりますのでご注意ください)

## 特別展示

スラブ・ユーラシア研究センター60年のあゆみ  
(2015年7月、スラブ・ユーラシア研究センターは設立60周年をむかえます)

## SCIENCE TALK 市民講座

パネル展示とサイエンス・トークは連動しております。  
聴講前にぜひパネル展示もご覧ください。

「20世紀最悪の環境破壊」の教訓—アラル海災害から学ぶべきこと 14:00~14:30

スラブ・ユーラシア研究センター／境界研究ユニット  
助教 地田 徹朗

中央アジアにあるかつて世界第4位の表面積を誇ったアラル海。しかし、旧ソ連時代の灌漑農業開発により、湖に流入する水の量が大幅に減少し、今やかつての10分の1程度にまで湖が縮んでしまいました。このような悲惨な環境問題・災害はどうして起きてしまったのでしょうか？そして、今、アラル海では何が起きているのでしょうか？「20世紀最悪の環境破壊」と言われたアラル海災害が今日の我々に突きつけている教訓について考えたいと思います。



油価下落と制裁—ロシア経済は本当に危機なのか？ 15:00~15:30

スラブ・ユーラシア研究センター／センター長  
教授 田畑 伸一郎

昨年、スラブ・ユーラシア地域を激震させたウクライナ危機。ロシアによるクリミア併合とウクライナ東部独立勢力への支援を理由とする欧米諸国からの経済制裁が今も続いています。そこに追い打ちをかけたのが昨年後半の原油価格の下落。ロシアの通貨ルーブルの価値も急落し、ロシアは今、経済危機下にあると言われています。しかし、ロシア経済は本当に「危機」なのでしょうか？統計資料を読み解きつつ、その現状について解説します。



\* 絵本展示・DVD上映 \*  
ちびっこ集まれ！  
子供のためのロシア・東欧文学

ロシア・東欧の人たちは子供のころから本が大好き！プーシキンやチェーホフ、トルストイといったロシアの一流作家たちは子供のための作品をたくさん残しました。日本でも大人気のチェブラーシカも、長い間培われてきた文学的土壌の上に芽生えた作品といえるでしょう。ロシア・東欧出身の作家による童話・民話の絵本、そしてアニメーションを紹介します。

## ACCESS アクセス



### ① メインストリートから

人文・社会科学 総合教育研究棟(W棟)の正面玄関に入って右へ進み法学部を経由します。

### ② 正門方面から

附属図書館の正面玄関に入って直進し渡り廊下を通り法学部棟に接続します。

- ・法学部棟より2階へ上がります。
  - ・法学部棟2階に、当センターへの連絡通路がございます。(他からは接続できません)
  - ・当センター2階「事務室」奥の階段、またはエレベーターで4階へ上がってください。
- ※各所の頭上に案内板がございます。あわせてご確認ください。